



# radio Camnetに続くマガジン版 雲心月性

大槻ワールドへようこそ

Camnet マガジンをお楽しみの皆様。マガジン版「雲心月性」です。いかがお過ごしですか？

大槻は 2021 年 3 月末まで在籍していた川崎医科大学の中の川崎医学会の運営委員長でデジタルサイネージに機関誌への投稿を促すスライドを月の前半 2 枚、後半 2 枚で流しています。Ms. Keiko C の描いたイラスト、Ms. Saori T の絵手紙と僕の写真です。2020 年の 11 月と 12 月のスライドを紹介します。



丸裸の枝に、空の青の背景に浮かび上がる柿色の球形です。



秋うらら、そしてボクらは彼はを集めてみましょう。



燃える紅葉に覆いつくされるかの様に、日々の苦悩も霧散すればよいのに。



そして、白い冬がに～哀しみの少女は、マツチを売っています。



ウォーターフロントに輝くイルミネーションの中、ボクの瞳にはキミしか映っていないようです。



なのにキミは、ボクの素顔を乗り越した遥か彼方の幸せを探しているみたいで。



ほら、こんなに街角にはキラキラと小さな夢が紡がれているというのに。



仕方なくボクは、昔のキミに、ささやかにクリスマスカードを届けよう、幸せを祈りながら。



2021 年の年末もアマビエと祈りをともにすることになるのでしょうか？

\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*

さて、オリジナル曲の歌詞紹介。「落葉の

首飾り」は、大槻の作詞作曲です。サブスクなどではリリースしていませんが……。

落葉を集めた 首飾りひとつ  
気に入って くれるかな こんな贈り物  
小さなポケットに 詰め込んだ言葉  
好きだよと 言えなくて 俯いてばかり

ほら また 寂しさを 素顔を隠して  
思い出ばかりを  
指折り数えてる あなた

小石を蹴っては 公園でひとり  
翳雲 追いかける こんな男の子  
あなたのおうちへ 回り道すれば  
街灯り 優しく 俯いてばかり

ほら また 寂しさを 素顔を隠して  
思い出ばかりを  
指折り数えてる あなた

\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*

2 か月分のコラムですので、時事的な話題は避けてしましますが、COVID-19 のワクチンの接種も進んで、もう波が来ていなければと、祈っています。よい 2022 年になりますように。

♪オリジナルCD  
プレゼントします！  
詳しくは  
プレゼントコーナーで

プロフィール 大槻 剛巳  
(おおつき たけみ)

新庄村国保診療所で内科医師として勤務  
0歳:京都府福知山市にて生誕  
14歳:京都府中学校陸上競技大会にて100mハードル2位  
14歳:KBS近畿放送AMラジオでリスナーの詩として採用  
15歳:倉敷市に転居  
15&18歳:NHKあなたのメロディー出演  
18歳:YAMAHAポプコン全国大会(譜面の部)出場  
20歳:YAMAHA神戸との連携で楽曲依頼あり  
24歳:川崎医科大学卒業  
以降:川崎医科大学血液内科～衛生学にて診療・研究・教育に従事  
1992-1996年:米国留学(医学研究)  
1996年:岡山県文学選奨現代詩部門選外秀作として「岡山の文学」に掲載  
2009年:Camnet CH-F(10-19)パーソナリティ担当  
2021年3月、川崎医科大学衛生学教授を退官。現在に至る